

## 演 題 II級窩洞のコンポジットレジン充填

演者名 陶山新吾

日 付 2015年3月24日

### Keywords

1. コンポジットレジンI
2. II級窩洞
3. 隔壁
4. マイクロスコープ

### 抄録

修復治療は、機能回復には効果的であるが、一般的に歯質の大きな削除を余儀なくされる。また、口腔内で天然歯と同じような挙動をする修復材料は未だないため、治療を行うと常に再治療の可能性があると考えられる。コンポジットレジン充填は、エナメル質を可及的に温存できるため、歯の強度低下を防ぐことができ、再治療時にリペアでの修復で済ませることも可能となる。治療の範囲を現状より大きくしないことが期待でき、結果として機能低下することなく歯の寿命を延ばすことに繋がると考えるため、私の臨床において治療の第一選択とすることが多い。

II級窩洞のコンポジットレジン充填は、隔壁を設置して行うことが多いが、今回は最後臼歯の遠心であったため隔壁の設置を行わずに積層充填にて対応した症例を報告する。

諸先生方のご意見、ご指導よろしくお願い致します。